

授業科目名	音楽と人生Ⅱ	担当形態	講義 オムニバス		
		開講学期	秋学期		
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	2	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

音楽分野または関連分野において、社会で活躍する卒業生・教員・著名人による講義をオムニバス形式で行なうキャリア支援科目です。大学卒業後、社会において生きていく上で役立つ内容を提供すること主眼に、音楽と人生について考えるきっかけや材料を与えることを目標にします。

＝履修の条件と学習の方法＝

講師および講義の内容は、約1週間前に掲示します。その都度、確認のうえ、受講してください。

教室も、その都度、確認のうえ、受講してください。遅刻は極力避けてください。

開講日 金曜日 第5限目（午後4時20分～午後5時50分）90分

＝授業の概要＝

社会で活躍する卒業生・教員・著名人によるオムニバス形式の音楽と人生についての講義です。キャリアについて考える機会を提供します。

＝授業計画＝

2017年度の例

- | | | |
|-----|-------------------|--|
| 1回 | アルバレス・ホセ（本学准教授） | ガイダンス |
| 2回 | 高橋 裕（本学特任教授） | 「生きるとは、作曲すること」 |
| 3回 | 猪狩 裕史（本学専任講師） | 「音楽療法とは」 |
| 4回 | 露木 薫（本学教授） | 「目指せ一万時間」 |
| 5回 | 橋本 眞介（本学准教授） | 「吹奏楽を楽しもう」 |
| 6回 | 柴田 篤志（本学教授） | 「教員になりたい(かもしれない)若者へ
～柴田は如何にしてセンセイになったか」 |
| 7回 | アルバレス・ホセ（本学准教授） | 「音楽に国境 在りやなしや」 |
| 8回 | 西村 秀人（名古屋大学准教授） | 「アルゼンチン・タンゴと私」 |
| 9回 | 小泉 孝（本学特任教授） | 「内気な中学生が歩んだ道」 |
| 10回 | 上田 仁（本学専任講師） | 「あかんたれ少年がトランペットに出会ってから」 |
| 11回 | 中川 朋子（本学准教授） | 「ザルツブルクの魅力」 |
| 12回 | 有森 聡美（外部講師 作詞家） | 「夢から現実～そして新たな夢へ」 |
| 13回 | 評価の説明、小レポート回収締め切り | |
| 14回 | 松田 昌（客員教授） | 「目からウロコ！ 鍵盤ハーモニカ」 |
| 15回 | レポート作成（テスト） | |

＝テキスト（必携）＝

＝参考書・参考資料（必携）＝

=成績評価の方法と評価の基準=

出席状況および聴講態度などを含めた日常点を含めて評価します。学期末にレポート試験を課します。レポート試験 60%、日常点 40%で評価します。欠席は総合点全体の 40%を上限に減点します。

=その他=